

産地パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

都道府県名 島根県

産地パワーアップ計画

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状				目標				実績				地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実 績	事後評価の検証方法(※定量的 な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県的评价	備考								
						年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	事業実施 前年度								目標年度							
																					前年度								単位	前年度	単位	前年度	単位	前年度	単位	
浜田市農 業再生協 議会	1	浜田市	果樹 (かき) (西条柿)	農産物処理加工施設	販売額の 10%以上の 増加	H 27	52,296,299 円	27.3 ha	生果 159 あんぽ柿 3	生果 263 あんぽ柿 3,229	円/ kg	-	H 30	71,880,000 円	27.3 ha	生果 137 あんぽ柿 11	生果 300 あんぽ柿 2,700	円/ kg	-	H 30	74,129,490 円	27.3 ha	生果 155 あんぽ柿 12	生果 298 あんぽ柿 2,255	円/ kg	-	H 30	生果 261 あんぽ柿 2,816	生果 311 あんぽ柿 2,576	円/ kg	0.839 あんぽ柿 1.093	69,726,852 円	89.1	全国的なあんぽ柿の出荷量増加により、販 売単価が低下し、あんぽ柿の単価は下落し た。 本産地でも試食宣伝活用などによる販売促 進等を行ってきたが、販売単価の向上にはつな がらず、成果目標の達成には至らなかった。 今後、あんぽ柿について、加工技術向上や 安定販売先の新規確保、商品PRに一層努 め、単価向上を図る。 さらに、生果の安定生産を固めるため、栽培 講習会・ほ場巡回等を行う。	生果の契約的取引や 加工による高付加価値 化など、単価の向上に 努めた。しかし、あん ぽ柿では、全国的な出 荷量の増加等外的要因 により、単価が安定せ ず、目標は未達成。 今後、栽培技術の向上 による品質の安定化 や、あんぽ柿の製品率 の向上など、産地一体 となった取組となるよ う指導する。	
出雲市農 業再生協 議会	1	出雲市 平田	果樹 (かき) (西条柿)	集出荷貯蔵施設	販売額の 10%以上の 増加	H 27	511,972円 /10a	30.4 ha	生果 274 あんぽ柿 28	生果 294 あんぽ柿 2,860	円/ kg	-	H 30	591,681円 /10a	30.4 ha	生果 232 あんぽ柿 41	生果 303 あんぽ柿 2,674	円/ kg	-	H 30	511,890円 /10a	30.4 ha	生果 219 あんぽ柿 33	生果 319 あんぽ柿 2,590	円/ kg	-	H 30	生果 261 あんぽ柿 2,816	生果 311 あんぽ柿 2,576	円/ kg	0.839 あんぽ柿 1.093	501,029円/10a	-13.7	本事業を活用した冷蔵保管施設(SCS)の導 入により、農産物の向上及び産地強化を 図ったが、成果目標の達成には至らなかつ た。 生果については、隔年結果と果粒肥大期に 降水が少なかったことにより、果実数が少な いうえに、小玉傾向であったため、出荷量が 大幅に減少した。 今後、産地の生き残りのためには、生産量 の安定化と増加が必要であり、勉強会等を通 じて徹底した栽培管理により、収量の向上、 大玉・高品質生産に努めていく。 あんぽ柿の減産の要因は、原料果である生 果生産量自体が少なかったことである。原料 果を1つでも製品化するためSCSを最大限 活用して廃棄率の減少に努めた(製品率9 2.5%→96.05% 約3.5%向上) ものの、十分数量の確保にはつながらな かった。 販売単価は、他県産品の増加により販売単 価が低下している。 今後、産地間競争にも勝ち残れるよう、あ んぽ柿の製品率向上や安定的な原料確保に よる安定生産を図る。さらに、販売額向上の ため、あんぽ柿のPRや販売単価の高い取引 先との取引拡大等、単価の向上につながる取 り組みを実施する。	果実肥大期に降雨が 少なく小玉傾向であ ったため、生果、あん ぽ柿ともに出荷量は減少 し目標達成は未達成。 今後、目標達成に向 けて、栽培技術の向上 による豊凶の均一化に 向けた指導など、関係 機関を含めた産地が一 体となった取り組みと なるよう指導してい く。	
出雲市農 業再生協 議会	2	出雲市 出雲 (デラウェア優良 系統柿田 系)	果樹 (ぶどう デラウェア優良系 統柿田 系)	施設果樹産地の形成 の促進	販売額の 10%以上の 増加	H 27	8,870,688 円	1.0 ha	8.6 t	1,037 円/ kg	-	H 30	10,070,000 円	10.0 ha	10 t	1,007 円/ kg	-	H 30	15,153,859 円	11.6 ha	12.1 t	1,251 円/ kg	-	1,085 千円/ t	1,217 千円/ t	0.891	13,507,219	386.6	H30年度は優良系品種へ改植した圃場の成園化 が進み、出荷量及び販売額が増進に推移し、 目標達成することができた。今後も継続する ために、高品質ぶどうの安定生産に努めてい く。	圃場に成園化したこと から、出荷量の増加 し、目標を達成してい る。 今後、産地一体とな った取り組みにより、産 地の維持・発展が図ら れるよう引き続き指導 する。						